

■ 品種一覧

ダウントランス盤 品番	DTr容量	電圧		ブレーカ※		外形寸法 (mm) 幅×奥行×高さ	重量	主なPCSの 接続例
		入力	出力	PCS側	キュービクル側			
DT50-1M-2M	50kVA	420/440V	210V	ELB/MCB	MCB	780×780×920	410kg	50kW×1
DT100-2M-4M	100kVA	420/440V		ELB/MCB		900×900×1020	620kg	100kW×1
DT125-2M-5M	125kVA	550V		MCB+ELR/MCB		1000×1000×1220	720kg	125kW×1
DT150-1M-6M	150kVA	420/440V		ELB/MCB		1000×1000×1220	780kg	50kW×3
DT150-2M-5M	150kVA	550V		MCB+ELR/MCB		1000×1000×1220	810kg	125kW×1

※組換対応可

■ 対応するPCS

	PCSの接続	PCSの一体化
Huawei社	○	○
Sungrow社	○	○
SMA社	○	—

主な製品は接続・取付ができますが、場合によっては不可なものがございます。詳細はお問い合わせください。

関連商品

自家消費ユニット（品番：DTNP-C）

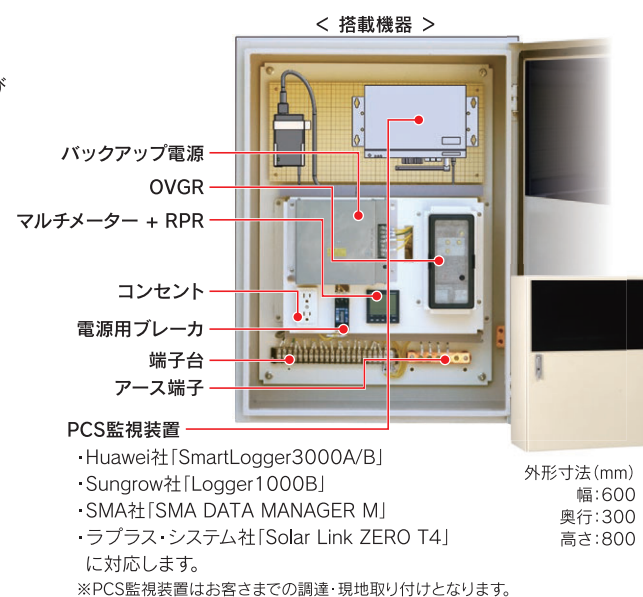
キュービクル内部に設置が必要だった機器類をダウントランス盤および付近に一括して設置できるオプションの盤です。

メリット① 施工時間の短縮

- ・複数の機器の取付時間に比べて盤を一つ取り付けるだけの省施工

メリット② 停電時間の短縮

- ・設置物件の休業期間を短くできる
- ・工事用電源の使用時間や容量の節約ができる

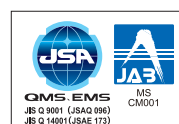


安心してご利用いただくために

- ・ご使用前に「取り扱い説明書」「施工説明書」を必ずお読みいただき正しくお使いください。

●仕様・寸法等予告なく変更することがありますので、予めご了承ください。 ●印刷色と実際の色彩とは異なる場合があります。

ご用命は



ISO14001:11業地区、本地地区、水産地区、つくば地区、大船地区、札幌地区での登録です。



河村電器産業株式会社

本社 愛知県瀬戸市曙町3-86 〒489-8611
https://www.kawamura.co.jp/

全国拠点のお問い合わせ先は
右の2次元コードからご確認ください。
(公式Webサイトにアクセスします)



カタログ記載内容：2023年9月現在

管理番号：M230901

太陽光発電設備に最適な選択肢を！

スペースとコストを徹底的に抑える

自家消費型 ダウントランス盤



河村電器産業株式会社

キュービクルのトップシェアメーカーが提案する安心感！

太陽光発電に欠かせない 自家消費型ダウントランス盤

既存の事業所などに小規模(400kW以下)な
自家消費型の太陽光発電設備を導入する場合、
「太陽光発電向けキュービクル」を設置するよりも
カワムラの「自家消費型ダウントランス盤」の設置をオススメします。



カワムラの
ダウントランス盤

太陽光発電向け
キュービクル

【 オススメする 3つの理由 】

01 設備全体として コストダウンが可能！

なぜなら…

- キュービクルと比較して
約30～50%安価
- 海外製PCSの利用が可能
- 配線部材や施工費を節約可能

02 設備を集約してスッキリ！

なぜなら…

- 125kW**までのPCSを上部に
搭載して一体化 ※50～125kW対応(一部対象外あり)
- 現場に合わせて
PCSの向きが調整可能
- 集電箱も内包

03 省施工で省スペース！

なぜなら…

- キュービクルに比べて**1/4の面積**
- 地上配線時も側面から出線が可能
- 高圧の電気工事が不要

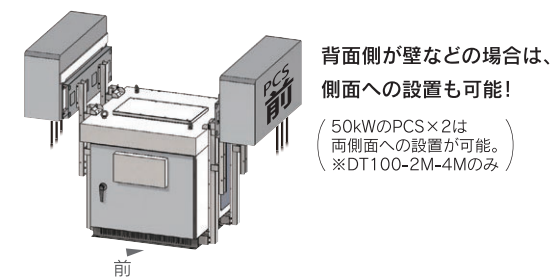
DT150-2M-5M
※搭載しているPCSは一例です。

オプションによるPCS一体化の設置例

別売りのPCS取付キットでダウントランス盤とPCSを一体化。さらに省スペース化することが可能。



PCSの前面を
ダウントランス盤の
外側に向けることで
配線作業が簡単に！

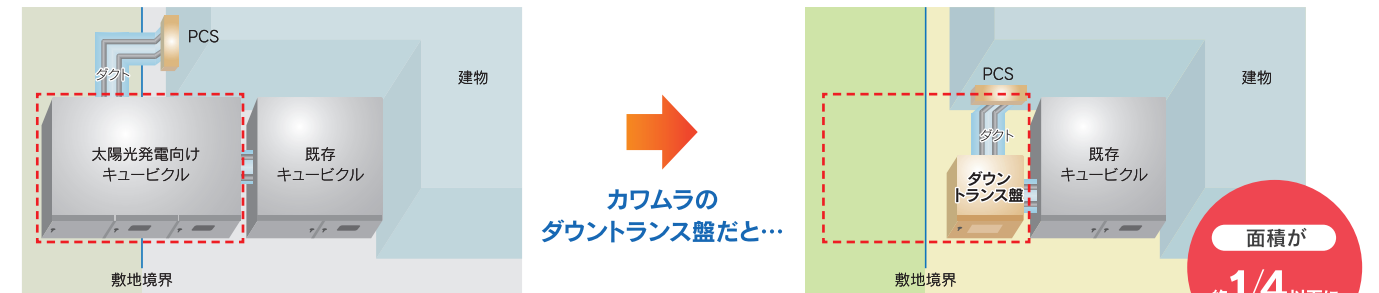


背面側が壁などの場合は、
側面への設置も可能！
(50kWのPCS×2は
両側面への設置が可能。)
※DT100-2M-4Mのみ



PCS取付キット
(別売り)

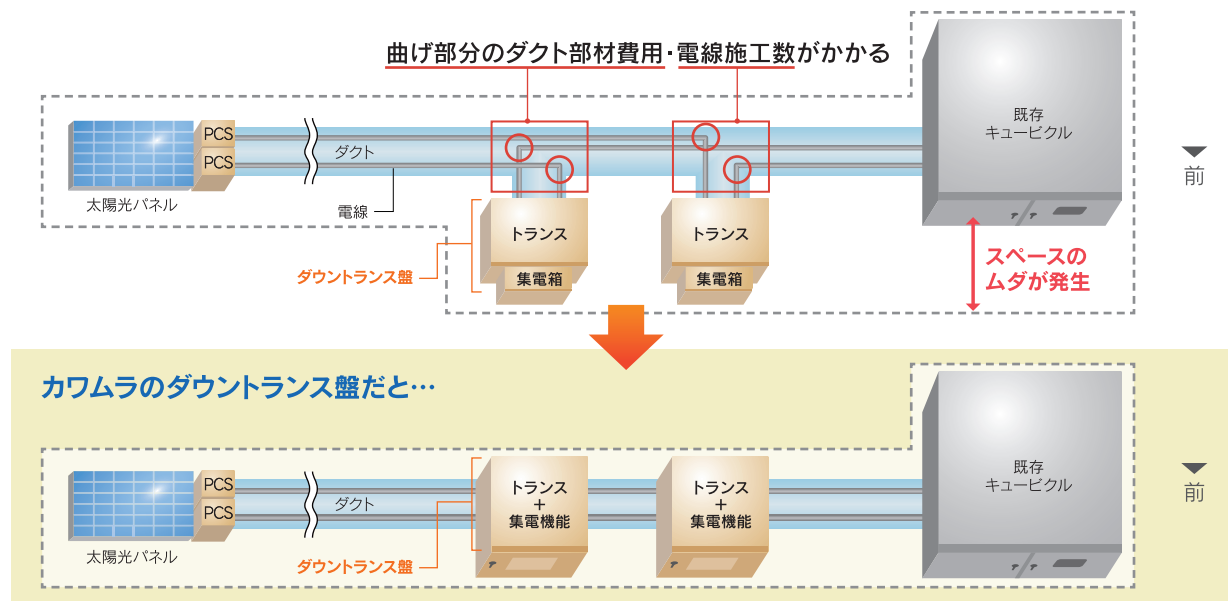
太陽光発電向けキュービクルを設置する場合との比較



敷地の端などの狭いスペースにも、コンパクトに配置が可能！

面積が
約**1/4**以下に

他社製ダウントランス盤との比較(地上配線) (真上から見た模式図)



既存施設には嬉しい省スペース！(約1～2㎡削減)
さらにキュービクルと扉面を揃えて配置が可能！

※他社製のダウントランス盤でも地中埋設配線にすることで側面出線が可能ですが、施工コストが上がります。

脱炭素経営EXPO[秋] 出展
(2022年、2023年)



「環境ビジネス
展示会特別号」P.9掲載



お客様の声



工事業者 A様

自家消費型は小規模で採算性が悪い案件が多く、これまで扱ってこなかった。ダウントランス盤ならキュービクルよりも低コストで狭い面積にも設置ができるため、予算や現場面積の少ない小規模な案件にぴったりだと思った。今後自家消費への参入を真剣に検討してみようと思う。



EPC事業者 B様

PCSを建物ではなくダウントランス盤の上に搭載できるため、設置する基礎や部材費を抑えることができる。だから太陽光パネルと建物が少し離れているような場合に採用したい。